

Mesh Wall Guard 工法

メッシュウォールガード工法

MakMax



環境性 安定性 簡単施工

MakMax 太陽工業株式会社

www.taiyokogyo.co.jp

〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-8-4 TEL:06-6306-3056 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-8-11 TEL:052-541-5118
〒153-0043 東京都目黒区東山3-16-19 TEL:03-3714-3361 〒732-0052 広島市東区光町1-12-16 TEL:082-261-1251
〒061-1274 北広島市大曲工業団地4-2-9 TEL:011-887-8350 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-15-19 TEL:092-411-8003
〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-11-1 TEL:022-227-1364 〒901-0152 那覇市字小禄662-5F TEL:098-851-4423

●一級建築士事務所 ●特定建設業者大臣許可(特-28)第381号 ●一般社団法人 日本膜構造協会正会員 ●一般社団法人 防衛施設学会会員 ●一般社団法人 リバーテクノ研究会会員

20220215

新技術情報提供システム NETIS 登録

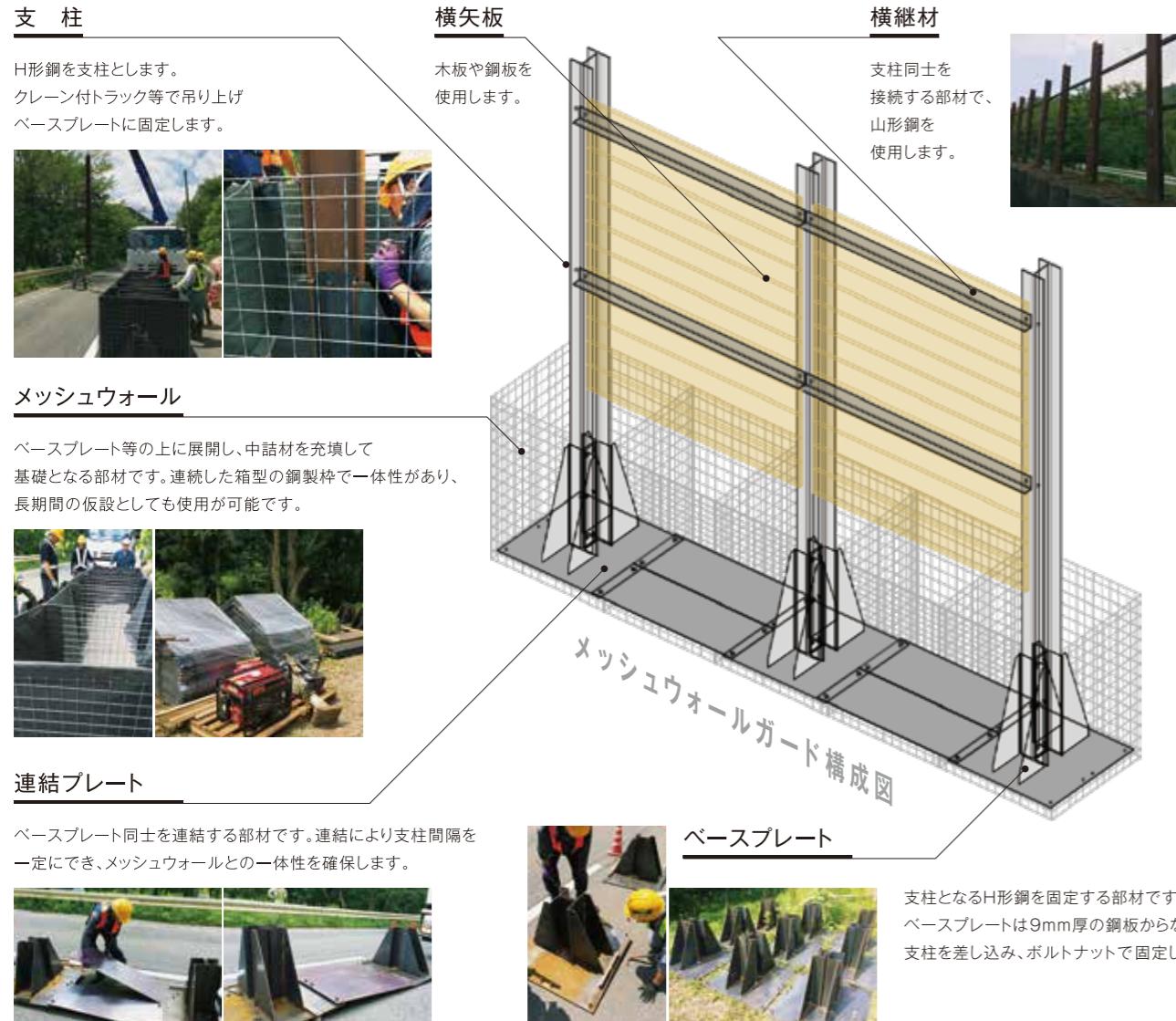
新技術名称:迅速に設置可能な切土工事の防護柵(メッシュウォールガード工法)
登録番号:KT-210101-A

メッシュウォールガード工法は国土交通省のNETISに登録されています

MakMax 太陽工業株式会社

メッシュウォールガード(MWG)工法は、連続箱型鋼製枠(メッシュウォール)に土砂を充填し仮設落石防護柵の基礎とする工法で、路面への根入れ(杭打ち)を行わずに、工事中の落石対策を行うことを可能にします。

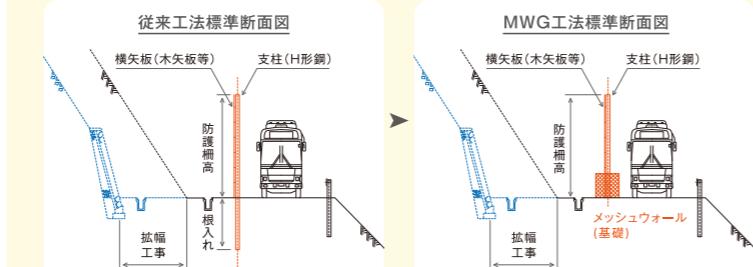
■メッシュウォールガード(MWG)工法の解説



01 環境性

支柱の根入れ(杭打ち)が不要なため、地下埋設物の検査も不要となります。
騒音や振動も少なく、周辺環境への配慮という観点からも優れた工法です。
また、道路を傷つけないため路面復旧が不要です。

■従来工法とMWG工法の違い



Mesh Wall Guard 工法

02

安定性

MWG工法は、水平方向の載荷による転倒や衝突への耐性について実物大試験を実施し、風荷重や落石荷重に対して充分な安定性をもつ構造であることが確認されています。また実際に設置する際の安定計算に厳しい基準を設けることで、安定性への信頼度をより高めています。



03

簡単施工

杭打機等の大型重機を必要としない簡単施工で工期短縮が可能です。

■施工手順

01 搬入

メッシュウォールは折り畳まれた状態で搬入されるため、省スペースでの保管が可能です。



02 ベースプレートの設置

支柱を建て込むためのベースプレートを設置し、ベースプレート同士を連結プレートで接続します。



03 メッシュウォールの設置

ベースプレート上にメッシュウォールを展開します。メッシュウォールは重さ約60kg/基のため3、4人でスムーズに小運搬・展開・設置が出来ます。



04 支柱の建て込み

ベースプレートに支柱を建て込み、ボルトナットで固定します。



05 中詰材の充填

メッシュウォール内に中詰材を充填します。中詰材には現地発生土が利用できます。



06 横矢板の設置

支柱同士を横継材で接続し、支柱に横矢板を設置して仮設落石防護柵メッシュウォールガードの完成です。使用後はメッシュウォールガードを解体し、土砂を撤去しますが、各プレートや支柱は繰り返し使用が可能です。



メッシュウォール規格表

防護柵高さ	種類	高さ	幅	セル数	重量	全長
3.0m	T-1.0	1.0m	1.0m	5個	約57kg	5.0m
4.0m	T-1.3		1.3m		約62kg	
5.0m	T-1.6		1.6m		約67kg	